

## 基本動詞の用法をみんなで学ぶ方法

林 四郎

名詞と動詞は文の根幹部分を作る言葉です。名詞による語彙力は、話題を盛る名詞と名詞の間の、論理的関係と連想的つながりにより、発想の展開を導くことができます。動詞の方は、文の述語を作るための、それが最も大事な要素であることは明らかですから、動詞が自由に使えることは、文の述語が楽に作れることを意味します。そのことはまた、名詞が立てた話題を「文」の叙述に収める力を約束することになります。こういう筋道を仮定して、日本語の動詞が使いこなせるようになるための練習法を考えましょう。動詞をシンタグマに伸ばして行く学習を繰り返すことによって、動詞の意味と用法とを同時に学んで行く方法を、具体例によって提案します。但し、具体例と言っても、私は学習者の居る教室現場を持っていませんから、以下の具体例は、すべて私の頭から引き出したものです。問題を提出する指導者も、答えを出す学習者も、どちらも私自身が演じました。「みんなで学ぶ学習指導コース」を私の頭でシミュレーションしたことになるだろうと思います。問題設定は、極めて基本的な動詞の中から「あげる」と「出る」を取り上げ、「あげる」ではその自動化形「あがる」を、「出る」ではその他動化形「出す」を視野に入れながら、コロケーション作りによって「あげる」と「出る」の意味・用法を考えることです。その手順は、こうなります。「あげる」では、格助詞「を」の助けを借り、「～をあげる」がどういうコロケーションを作り、そのイデオム化がどういう姿を取るか、どんどん例を出して考えて行きます。その過程で、「～をあげる」が「～があがる」と対応するかどうかを吟味します。これも、用法によって意味を考える学習になります。「出る」の方は自動詞ですから格助詞「が」によって「～が出る」の用例を作ることから始めます。その際、「～が出る」に対応する「～を出す」があるかどうかを考えます。「元気が出る」に対応して「元気を出す」は自然な言い方ですが、「日が出る」に対する「日を出す」は自然には言いません。なぜでしょうか。「犠牲者が出る」に対する「犠牲者を出す」は自然な表現ですが、この「出す」に、「元気を出す」の「出す」のような能動性・意志性は感じられません。これも、なぜでしょうか。こんなことを論じ合ったら面白くはないでしょうか。「出る」は自動詞ですが、「～を出す」が大いに成り立ちます。その用例を考え、更に「～へ出る」と「～に出る」の用法作りを試みましょう。「～へ出る」は、単純ですが、「～に出る」の方は、かなりバラエティがあります。思いついた例を、似た者集めによって類別してみると、A～Fのようになりました。日本語教育の教室で、指導者と学習者が同じ高さに立ち、こんな学習を展開するのも一興ではないかと思い、提案します。

## 「～をあげる」の連語表現、及び関連表現

## A. 第一義においては物理的上方移動

手をあげる 両手をあげる 諸手をあげる

「ハイ」と手をあげる(単純挙手)

諸手をあげて賛成する(比喩化へ)

完全に手をあげてしまった お手上げだ

ダレがダレに手をあげる 親に手を上げる息子

めきめき手をあげてきた(習字の上達) ■手があがる

腰をあげる 重い腰を上げる おみこしをあげる

社長がやっと腰を上げた ■腰があがる

尻をあげる ■尻があがる 座り込むとなかなか尻が上がらなくて困る

腕をあげる いくつも事件を手がけて大いに腕を上げた ■腕があがる

帆をあげる 順風に帆を上げる 得手に帆上げて

旗をあげる 旗上げ 旗上げする 旗上げ式

頭(こうべ)をあげる 頭を挙げて山月を望む(李白の詩)

狼煙(のろし)をあげる ■のろしがあがる

碇をあげる 碇をあげて出港する

幕をあげる 華々しく幕を上げた ■幕があがる 静かに幕が上がった

軍配をあげる どちらに軍配をあげるか ■軍配があがる 軍配はどちらに?

しぶきをあげる しぶきをあげて泳ぐ ■しぶきがあがる

花火をあげる ■花火があがる

凧をあげる 凧あげ ■凧があがる 凧がよくあがっている

アドバルンをあげる(原義も比喻化も) ■アドバルンがあがっている(原義のみ)

観測気球をあげる とりあえず観測気球をあげてみよう

噴煙をあげる ■噴煙があがる

祝杯をあげる 今夜はゆっくり二人で祝杯をあげよう

天ぷらをあげる ■天ぷらがあがる えび一丁あがり

## B. 心理的上方移動

音(ね)をあげる

悲鳴をあげる

声をあげる 大声をあげる 名乗りをあげる

歓声をあげる ■歓声があがる そのとき、わっと歓声があがった

気炎をあげる 怪気炎をあげる 例によってお二人さん怪気炎をあげておいでだ

名をあ(上)げる 一躍、名を上げた ■名があがる この事件で大いに名が上がった

名をあ(挙)げる 名を挙げて非難する ■名があがる 候補者にだれの名があがるか?

男をあげる ■男があがる みごとな大岡さばきで、いっそう男を上げる

うなりをあげる うなりをあげて回転するモーター

呱呱の声をあげる ダレはイツ、ドコで呱呱の声を上げた。

怨嗟の声をあげる ■怨嗟の声があがる 民の間から怨嗟の声があがる

功績をあげる (「功績があがる」は、「実績があがる」「成果があがる」ほどぴったりでない)

成果をあげる 一定の成果をあげる必要がある ■成果があがる それなりの成果があがった

収益をあげる ■収益があがる そこそこの収益はあがっている

兵をあげる 源頼朝が東国で兵を挙げた 挙兵 挙兵する

全力をあげる 目的達成に向けて全力をあげる

(国をあげる) 国を挙げて歓迎する 国を挙げての歓迎におどろく

線香をあげる 灯明をあげる お経をあげる

式をあげる ハワイの教会で式を挙げる 挙式する

証拠をあげる ■証拠があがる 証拠はあがっているんだ

例をあげる 該当する例を三つ挙げなさい ■例があがる 面白い例があがっている

理由をあげる 納得できる理由をあげてください

## C. 数量性グレードアップ

熱をあげる ダレがダレに熱をあげる お熱だ

値をあげる 値上げ ■値があがる  
株をあげる ■株があがる  
ピッチをあげる ■ピッチがあがる  
スピードをあげる ■スピードがあがる  
メートルをあげる ■メートルがあがる

#### D. 進上・贈呈

ごほうびをあげる

いいものをあげる

これをあなたにあげる

●この「～を」の位置には無制限に言葉が入るのでイデオムにならない。この類には「～があがる」との対応が無い。

### 「～があがる」のみで「～をあげる」が無い

火の手があがる 革命の火の手が全国にあがった  
雨があがる 雨上がり 雨上がりの庭の緑が美しい  
意気があがる 意気大いにあがる 甚だ意気があがらない  
人品があがる 出世して、いくらか人品があがった  
諸式があがる このごろは諸式が上がって暮らしにくい  
根があがる 根上がりの松  
格が上がる (「格上げする」は言うが「格を上げる」はあまり言わない)

●「～があがらない」が普通である言い方

うだつが上がらない

頭が上がらない ダレはダレに頭が上がらない

風采が上がらない

### ～が出る

せきが出る 生理 中から外へ せきが出て止まらない  
くしゃみが出る " くしゃみが出そうなのをこらえる  
あくびが出る " あくびの出る話  
汗が出る " 「冷や汗が出る」は心理現象  
熱が出る 生理 出現 ●熱を出す 熱を出して寝こむ  
居眠りが出る "   
元気が出る " 元気が出ない ●元気を出す  
やる気が出る 生理心理 出現 ●やる気を出す  
疲れが出る " 長旅の疲れが出た  
手が出る 物理現象 比喩化 手が出ない ●手を出す 手出し  
足が出る " ●足を出す  
つのが出る " ●つのを出す  
腹が出る 物理現象 ×腹が出る 腹が出ている 腹が出てきた  
しっぽが出る 比喩化 ●しっぽを出す  
ぼろが出る 生理心理 出現 ●ぼろを出す  
くせが出る " いつものくせが出た  
精が出る " ご精が出ますね ●精を出す 精出して働く

貫禄が出る 人間現象 出現 貫禄が出てきた  
幅が出る " 人間に幅が出てきた  
特色が出る " 作者の特色が出ている ●特色を出す  
調子が出る 人間機械現象 調子が出てきた ●調子を出す  
地が出る " つい地が出てしまった  
本音が出る " やっと本音が出た  
味が出る 物理 比喻化 昆布の味が出る ベテランの味が出ている  
煙が出る 物理現象 発生 煙突から煙が出る  
ダイオキシンが出る " ごみ処理からダイオキシンが出る

日が出る 天然現象 出現 日の出 日が出た  
月が出る " 月の出 月が出た  
星が出る " 星が一面に出ている ×星が出た  
虹が出る " 虹が出た 虹が出ている  
蜃気楼が出る " 海上に蜃気楼が出た  
風が出る " 発生 風が出てきた  
雲が出る " 真っ黒な雲が出てきた  
霧が出る " 夕方から霧が出るでしょう  
大水が出る 自然社会現象 発生 大水の出る恐れがある

被害が出る 社会現象 出現 大きな被害が出た  
犠牲者が出る " ●犠牲者を出す  
病人が出る " ●病人を出す  
脱落者が出る " ●脱落者を出す  
横綱が出る " わが県から横綱が出た ●横綱を出す  
遅れが出る " ダイヤに五分の遅れが出る ●遅れを出さぬように  
人気が出る " この頃人気が出てきた  
名が出る " やっと名が出てきた  
苦情が出る " 市民から苦情が出た  
許可が出る " やっと許可が出た ●許可を出す 渋渋許可を出す  
金が出る " 動き どこかから金が出ている ●金を出す  
賞が出る " 総理大臣からの賞が出る ●賞を出す  
スピードが出る 物理現象 スピードの出る車 ●スピードを出す

膿が出る ●うみを出す この際思い切っとうみを出した方がいい  
さびが出る 身から出たさび  
ほこりが出る たたけばほこりの出る体  
鬼が出るか蛇じゃがでるか  
(蛇(へび)が出る) ●やぶをつついて蛇を出す  
おふれが出る

## ～を出す

家を出る 家出  
村を出る  
郷里を出る 男子志を立てて郷関を出づ

国を出る

門を出る

玄関を出る 一步玄関を出たらそこは世間

↓↓

いずれも内から外への意志的移動「出て行く」。強めれば「おん出る」。

学校を出る

大学を出る 大学出

東大を出る 東大出

早稲田を出る 早稲田出

トンネルを出る

大気圏を出る

範囲を出る 少年法の範囲を出る問題

域を出る 素人の域を出ない／出ている

山間部を出る 山間部を出て流れがゆるやかになる

↓ ↓

自然推移の結果「出てしまう」。

## ～へ出る

家を飛び出して娑婆へ出る

日本を離れて国際社会へ出る

大学を卒業して実社会へ出る

大気圏から宇宙空間へ出る

華々しく社交界へ出る

山間部から平野へ出る

いよいよ政界へ出る

## ～に出る

A (輪の中から外に出る)

外に出る たまには外に出たい ●植木鉢の植物を外に出す

郊外に出る 郊外に出ていい空気を吸う

国外に出る 初めて国外に出た ●この品はまだ国外に出したことがない

～の外に出る 領海の外に出る ●羊を柵の外に出さないように

部外に出る 情報が部外に出ないようにする ●部外に出せば産業スパイ

雲の上に出る 飛行機が雲の上に出た ●頭を雲の上に出し

公海に出る 船がいよいよ公海に出た

旅に出る 旅に出たい ●可愛い子を旅に出す親の気持ち

B (外的場面に出る)

畑に出る 畑に出て野良仕事をする

舞台に出る 初めて舞台に出たときのきもち ●もう舞台に出してもいい

表面に出る 陰の人物がついに表面に出た ●このことは表面に出したくない

出る所に出る それなら、出る所に出ようじゃないか

テレビに出る きノウ、テレビに出ていたね ●テレビに出して宣伝する

新聞に出る 事件が新聞に出てしまった ●死亡広告を新聞に出す  
試合に出る 試合に出て、自分の力がわかる ●まだ試合には出せない  
市場に出る まだ市場には出ない品 ●まだ市場に出さない品  
会議に出る 私の代わりに会議に出てくれ ●今日の会には代理を出します  
電話口に出る 今は電話口に出たくない ●本人を電話口に出してくれ

C (目的の行動をしに出る)

応対に出る だれが応対に出るか ●だれを応対に出すか  
仕事に出る 来週は仕事に出られるだろう  
食事に出る 只今食事に出ております。  
買い物に出る 午後は買い物に出たい  
武者修業に出る 武者修業に出たいので針の刀をください ●～に出す  
買いに出る 弁当を買いに出る ●みんなの弁当を買いに出しています  
食べに出る 昼食を食べに出よう  
仕事を探しに出る 毎日仕事を探しに出るが、ない

D (選んだ行動を実施する)

行動に出る 予定の行動に出る  
～の拳に出る 一斉蜂起の拳に出る  
暴挙に出る 与党単独採決の暴挙に出た  
敬遠策に出る 対決を避けて敬遠策に出た  
強硬な態度に出る ついに強硬な態度に出てきた  
高姿勢に出る こういう時は高姿勢に出ないとだめだ  
低姿勢に出る まずは低姿勢に出て様子を見る  
下手(したて)に出る この際は下手に出ておこう

E (結果実現)

裏目に出る 善意の意図が裏目に出て不幸な結果になった  
意表に出る 意表に出たこの行動に身方もだまされた

F (内なる無形のものが外の有形物になって現れる)

色に出る 忍ぶれど色に出にけりわが恋は ●色に出すようなへまはしない  
顔に出る 内心の動揺が顔に出た ●つい、顔に出してしまった  
態度に出る 敵意が態度に出る ●態度に出すだけ正直な人だ  
動作に出る 思いやりのあるなしが動作に出る ●動作に出して示しましょう  
言葉の端端に出る 賛成と言いながら反対が言葉の端端に出る ●～出す  
数字に出る 不景気が数字に出た失業率

Aは「外へ」の意志のみ強く外が何の場所かの見極めはまだ。

Bは出て行く先の場面に意識の焦点がある。

Cは二の前が動作性の体言で、そこに、出て行くことの目的が言い表わされている。

Dは出て行く先が物理的場面ではなく、自分が描いた心の絵姿。

Eは、自分が出て行くのではなく客観事態がそのように出てきた。(「意表をつく」と「意表に出る」の違い)

Fは、深層に在って持ち主がコントロールできないものが持ち主を裏切って外に出てしまう。

「～をとる」の連語を思いつくままに並べる。次ページに、これを整理・類別・補充したが、見落としもある。

後れをとる  
ひけをとる ひけをとらない  
リーダーシップをとる  
教鞭をとる  
大事をとる  
休暇をとる  
休養をとる  
笑いをとる  
(人気をとる) 人気とり  
機嫌をとる  
ごきげんをとる ごきげんとり  
バランスをとる  
(手間をとる) 手間どる  
お手間をとらせまして  
年をとる  
手をとる1 手をとって教える  
手をとる2 手をとられる  
ふたをとる  
帽子をとる 帽子をとって礼をする  
(ひまをとる) ひまどる  
時間をとる  
(足をとる) 足どり 足どりも軽く  
ふちをとる 縁どり  
席をとる 席とり合戦  
予約をとる  
音頭をとる 音頭とり  
拍子をとる  
先手をとる 先手をとられる  
(反動をとる) 反動をとられる  
中をとる 中をとって  
平均をとる  
栄養をとる  
メモをとる  
記録をとる  
場所をとる  
幅をとる  
事務をとる  
あげ足をとる あげ足をとられる  
言質をとる 言質をとられる  
舵をとる 舵とり  
コピーをとる  
(気をとる<言わない>) 気をとられる  
戸籍謄(抄)本をとる  
疲れをとる  
あくをとる  
よごれをとる  
蚤をとる 蚤とりまなこ  
博士号をとる

資格をとる  
糸をとる 繭から糸をとる  
(フキ、サヤエンドウの) 筋をとる  
武器をとる 武器を手にとる  
(明かりをとる) 明かりとり  
すもうをとる  
(?) あっけにとられる  
ペンをとる  
筆をとる  
～の姿をとる  
～の形をとる  
許可をとる とりつける  
安心をとる  
信用をとる(?) 信用をとりつける  
(名をとる) 名取り  
～の異名をとる  
～の立場をとる  
連絡をとる ダレと連絡をとる 連絡がとれる  
一定の距離をとる  
かたきをとる  
～の位置をとる  
～策をとる  
～戦法をとる  
～の処置をとる  
店屋ものをとる  
逆手(ぎゃくて)をとる  
食事をとる  
裏をとる  
(あとをとる) 跡取り 跡取り息子  
(月給をとる) 月給取り  
牛耳をとる  
評判をとる  
当りをとる  
間隔をとる 一定の間隔をとる  
むこをとる  
寸法をとる  
尺をとる 尺取り虫  
名をとる  
実をとる  
点をとる  
～成績をとる  
～を逆手(さかて)にとる 相手の言葉を逆手にとる  
～を盾にとる  
～を相手にとる 相手にとって不足はない  
(ボタンをとる) ボタンがとれる  
(借金をとる<言わない>) 借金とり  
(かけをとる) かけとり

「～をとる」の思いつき連語表現（前ページ）を、「とる」の意味内容によって整理類別補充した連語表

A. 手でつかむ

「手にとる」「つかみとる」

手をとる 手をとって教える 手とり足とり教える

ペンをとる やっとペンをとりました

筆をとる 執筆 執筆する

教鞭をとる 母校で十年教鞭をとった

武器をとる 武器をとって戦う 武器を手にとる

（槍をとる）槍をとっては日本一の腕前

舵をとる 舵とり 舵とりをまかせる

B. 自分の手の中におさめる

「とり入れる」「とり込む」「選びとる」

食事をとる 三度の食事をとる 朝食をホテルでとる

栄養をとる ダイエットより栄養をとることが大事

言質をとる 記者会見で言質を取られないように話す

資格をとる 介護士の資格を取る ●資格が取れる学校

免許をとる 国語の教員免許を取る

学位をとる 2年で修士の学位を取りたい

博士号をとる 万葉集の研究で博士号を取るつもり

牛耳をとる 牛耳る

主導権をとる 話し合いの主導権をとる

リーダーシップをとる グループのリーダーシップを取る

住民票をとる 住民票を2通取る

コピーをとる コピーを50部取る コピーを裏表一枚に取る

写しをとる 無断で写しを取ってはならない

メモをとる メモを取りやすいように話す ●早くてメモが取れない

裏をとる しっかり裏を取っておけ ●裏が取れた

席をとる 席取り 席取り合戦 5人分の席を取れ

先手をとる 先手を取られる

月給をとる 月給取り 初めて月給を取った気持ちは？

高給をとる 高給取り 月百万の高給を取る

点をとる 点取り 点取り主義

明かりをとる 明かりとり 明り取りの窓

成績をとる 立派な成績を取る

名をとる 天下一の名を取る

異名をとる 今太閤の異名を取る

休暇をとる 一週間の休暇を取る 休暇を取って旅行する

笑いをとる 笑いを取る商売 ●笑いが取れない間のつらさ

当りをとる 大いに当りを取った作品

約束をとる 約束を取りつける ●あした会う約束がとれた

許可をとる 許可を取らずに営業はできない ●やっと許可が取れた

中をとる 東京と大阪の中を取って名古屋で会おう

平均をとる (1) 算術平均の計算をする (2) バランスをとる 「平均がとれる」は2になる



バランスをとる ●収入と支出のバランスが取れていない

あとをとる 跡取り 跡取り息子

嫁をとる 息子に嫁を取る

婿をとる 娘に婿を取る

実をとる 実を取るか名を取るか

さや(鞘)をとる 利鞘をとる

C. 所有権を他から自分に移す

「奪いとる」「だましとる」「盗(と)る」

(物をとる) 物取り 人の物を取ってはいけません

金をとる だまして金を取る 空き巣に金を取られた

国をとる 国盗り物語

天下をとる 三日間天下を取った明智光秀

人の恋人をとる 友人に恋人を取られる

(釣瓶をとる) 朝顔に釣瓶取られて貰い水

D. 一定の範囲区画を押さえる

「占領する」「占める」「取りおく」「設ける」

場所をとる この家具は立派だが場所を取って困る

幅をとる 二人分の幅をとるので気がひける

間隔をとる 十分に間隔を取る

車間距離をとる 規定通りの車間距離を取って走る

時間をとる こんなことで時間を取って恐縮です

暇(ひま)をとる この仕事、暇はいくらも取りません

手間をとる 手間どる お手間はとらせません ●手間がとれる

E. 除くために取る

「取り除く」「取りはずす」「取りのける」

帽子をとる 帽子を取っておじぎする

上着をとる 暑いから上着をお取りください

蚤をとる 蚤取りまなこ

虱をとる 猿が虱を取るような格好

蓋をとる ふきこぼれる前に蓋を取って下さい

あくをとる ごぼうのあくを取る

よごれをとる 換気扇のよごれを取る方法

しみをとる 絨毯のしみは早いうちに取らないと取れない

疲れをとる 十分に休んで旅の疲れを取りましょう

F. 心が選び取る

「こうと決める」

処置をとる とりあえず応急の処置を取る

形をとる 日本列島が今の形を取った時期 ●うまく形が取れない

～の姿をとる この部族の神は狼の姿を取っている

～の立場をとる 中立の立場を取る

～策をとる 面倒なバッターは敬遠策を取って歩かせる

～の道をとる 進学の道を取る 迷わず平和への道を取る

～戦法をとる だんまり戦法を取って親を困らせる子供  
進路をとる 北北西に進路を取れ

G. 言い方として「とる」と言う

音頭をとる 音頭取りをする  
拍子をとる 手拍子をとる 手拍子を取って歌う  
機嫌をとる ご機嫌をとる ご機嫌取り  
年をとる 無駄に年は取らない  
寸法をとる ウエストの寸法をお取りします  
尺をとる 尺取り虫 指を広げて尺を取る  
大事をとる 大事を取ってもう一日休もう  
連絡をとる 密に連絡を取り合う ●連絡が取れる  
すもうをとる 相撲取り ひとりずもうを取る  
後れをとる 人に後れを取りたくない  
ひけをとる 誰にもひけを取らない出来  
労をとる 媒酌の労をとる

H. ～を～にとる

～を人質に取る 子供を人質に取って立てこもる  
～を盾に取る 人質を盾に取って逃走する  
～を手玉に取る 大人たちを手玉に取る子供  
～を逆手(さかて)に取る 相手の言葉を逆手にとってやり返す  
～を例に取る フランスを例に取って革命の意義を考える

I. ～に～を取る

～に例を取る フランス革命に例を取って革命の経過を調べる  
～に範を取る 長安の都に範を取った平安京  
～に材料を取る 歴史に材料を取って小説を書く